

国語科 2 学年の学習

1 学習の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

2 学習内容

月	単 元 名	目 標	主 な 教 材 名
4	1 広がる学びへ	さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。	詩「見えないだけ」 小説「アイスプラネット」 古文「枕草子」 漢字「熟語の構成」
5			
6	2 多様な視点から	構成を捉え、説明の工夫を考える。	報告「クマゼミ増加の原因を探る」 文法「単語をどう分ける？」
7	3 言葉と向き合う	表現を味わい、言葉の世界を広げる。	短歌「短歌に親しむ」 「短歌を味わう」 随想「言葉の力」 言葉「類義語・対義語・多義語」
	〔硬筆〕楷書の横書きについて正しい書き方を学ぶ。		
	○読書生活を豊かに	読書を楽しむ・翻訳作品を読み比べよう	
9	4 人間のきずな	さまざまな関係を捉え、考えを深める。	小説「盆土産」 随筆「字のない葉書」 言葉「敬語」 漢字「同じ訓・同じ音をもつ漢字」
10	5 論理を捉えて	根拠を吟味し、説得力を高める	論説「モアイは語る」 作文「意見文を書く」 詩「月夜の浜辺」
11	6 いにしへの心を訪ねる	昔の人のものの見方や考え方に触れ、古典に親しむ	古文「源氏と平家」「平家物語」 「扇の的」「仁和寺にある法師」 漢詩「漢詩の風景」
12	7 価値を語る	自分にとっての価値を見極め、伝え合う	評論「君は『最後の晩餐』をしっているか」 文法「走る。走らない。走ろうよ。」
	〔書き初め〕行書の漢字と仮名の調和を考えて書く。		
1 2 3	8 表現を見つめる	多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める	小説「走れメロス」 文法「一字違いで大間違い」 言葉「話し言葉と書き言葉」 漢字「送り仮名」 詩「木」

3 評価の方法

次の3つの観点を3段階（ABC）で評価し、その結果を総合的に判断して5段階（54321）の評定を決定します。

国語科の3つの観点	根拠となる学習内容
知識・技能（言葉の特徴や使い方に関する事項） （情報の扱い方に関する事項） （我が国の言語文化に関する事項）	定期テストの結果・小テスト・授業への取り組み
思考力・判断力・表現力等 （話すこと・聞くこと）（書くこと）（読むこと）	定期テストの結果・スピーチ・作文課題等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物の内容・定期テストの結果

4 授業の約束

①提出物の期限を守る。 ②言葉遣い、文字を丁寧に正しく。 ③積極的に自分の意見を発表する。